

No.526

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

「創立50周年記念集会 in 関西 講演と文化のつどい」大阪ドーンセンター

国会請願の成功めざし 全会員参加で署名の飛躍を

主な記事

- 「創立50周年記念集会 in 関西講演と文化のつどい」…………… 2
- 私も一言／後藤仁敏・9条かながわの会事務局長…………… 3
- 顕彰碑／「俳句弾圧不忘の碑」金子兜太揮毫…………… 5
- 抵抗の群像／三度の投獄に抗した弁護士守屋典郎…………… 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳…………… 7

「創立50周年記念集会 in 関西 講演と文化のつどい」は、3月17日大阪ドーンセンターに近畿6府県はじめ全国から500人超が参加し、大成功しました。

4月16日の友好諸団体招待記念祝賀会、翌17日の中央理事会の成功の上に立って、1カ月後に迫った5月16日の第45回目の国会請願を成功させましょう。

請願署名の3月1日現在の到達は、8万7567筆（目標比20・1％）です。前年同月比で21県は超過していますが、残念ながら合計では5000筆の遅れとなっています。

「森友学園」との国有地取引の財務省の決裁文書の改ざん問題で、当時の財務局長佐川宣寿前国税庁長官の証人喚問が3月27日、衆参両院の予算委員会で行われました。佐川氏は、証言拒否を連発し、安倍首相夫妻の疑惑は深まるばかり。真相解明、安倍内閣退陣の闘いの先頭に立って、請願署名目標の達成、「第35回日本映画復興会議奨励賞」の受賞が決まった映画「種まく人びと」DVDを活用して2万人の同盟建設、新発売の「抵抗の群像」第3集の普及など、「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」にふさわしく諸課題をやり切ろうではありませんか。

国会請願 5月16日(水)

開会11時(受付10時より)
衆議院第一議員会館 大会議室

治安維持法賠償同盟・創立50周年記念集会盛大に

「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」創立50周年記念集会in関西が3月17日、大阪市のドーンセンターホールで開かれ、近畿2府4県をはじめ全国から5000人を超える参加がありました。

1968年3月15日に治安維持法犠牲者約200人によって誕生した同盟は、犠牲者への謝罪と賠償、顕彰を要求し毎年国会請願を行ってきましたが、いまだその要求は実現していません。増本一彦会長は、主催者あいさつのなかで、「戦後70年余を経ても実現しないのは、わが国歴代政府と国会議員の多数派に根強く存在している侵略戦争肯定史観と靖国皇国史観による歴史修正主義に原因があります」と指摘。「安倍政権が戦争する国をつくらうとしているだけに

戦争に反対した犠牲者の顕彰、謝罪と賠償の実現が必要」と述べ、そのためにも自力をつけようと、「市民と立憲野党の共同を發展させる、年内に全国2万人の会員を擁する組織にしたい」と述べました。荻野富士夫小樽商科大学教授が「新たな『戦時体制』の構築に抗するー治安維持法の歴史に学ぶ」と題し講演しました。

1925年に成立した治安維持法が大「改正」により、弾圧対象が共産主義者にとどまらず宗教者などへと拡大され、自由と民主主義が圧殺されていった歴史、治安維持法により弾圧され死刑判決も下された朝鮮や満州における植民地での運用実態を紹介しました。戦時下でも「抵抗の意思」を持ち続け、たたかった小林多喜二、



写真上は、バイオリニストの松野迅さん。中段上から増本一彦、戸倉隆、穀田恵二、下段は、荻野富士夫の各氏



吉田隆子、末永敏事たちに学び、「運動・思想の『胞子』を拡散」し、現代日本で進行する戦時体制に異議を唱え

抵抗する覚悟、「自由・平等・平和・博愛を求める運動はけつてなくなりません」と変革への展望を語りました。

日本共産党の穀田恵二衆院議員、新社会党の戸倉隆大阪府本部副委員長が来賓のあいさつ、日本共産党の辰巳孝太郎参院議員が紹介されました。

第2部のバイオリンコンサートでは、松野迅さんが、パブロ・カザルスが国連本部で「カタルーニヤの鳥は、ピース、ピースと鳴くのです」と語って演奏したという「鳥の歌」や、「荒城の月」などを演奏しました。

近畿6府県本部（京都、兵庫、滋賀、大阪、和歌山、三重、奈良）が出演。（3ページへつづく）



自民党大会で安倍晋三首相は「いよいよ、結党以来の課題である憲法改正に取り組むときがきた」とあらためて改憲の意欲を表明▼「安倍改憲」を考えるとき、日本が過去に起こした戦争をどう見るか「歴史認識問題」が重要だと思う。そのためには改めて日本国憲法が生まれた原点を学び国民一人ひとりが憲法の素晴らしさを自覚したい▼戦前の過酷な弾圧に生命を賭して侵略戦争に反対し、主権在民を主張して闘った人々の願いは、戦後、憲法前文で「…再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と高らかにうたわれた▼「過去から何を学ぶかで現在と未来は大きく変わる」といわれている今日、「犠牲者」の闘いを学ぶことは必ずや「改憲阻止」の「力」になることを確信し、このたび発刊の『抵抗の群像』第3集の購読を勧めたい。（池）

(2ページからつづく)

治安維持法による苛酷な弾圧と
不屈にたたかった国領伍一郎、三
木清、久木興治郎、安賀君子、北
川宗蔵らの生涯を朗読とスライド、
ピアノ演奏で紹介されました。奈
良蟻の合唱団が反戦活動家・エ
スペランティスト長谷川テルを讃

える歌を合唱しました。
参加者からは「各地の掘り起こ
し、改めて犠牲になった人たちの
思いを知ることができた」「戦前
の歴史から学ぶことによって、現
在の安倍内閣の「戦争する国」づ
くりを市民と野党の共闘で打ち破っ
ていきたい」との決意が語られま

した。また、松野迅氏が演奏とト
クで語った治安維持法で検束され
た義母(亀田りえさん)の思い出
が、「私のおじと重なった」など
の共感の声がよせられています。
また、集会場場で参加者に手渡
された入会申込書に記入しての入
会がありました。



安倍政権は末期を迎え
ながらも、時代遅れのナ
ショナリズムを煽り、戦
争でできる国づくりの道を
突き進んでいます。秘密
保護法、安保法制、共謀罪、そして憲法九条改
悪です。

そんな今、私が
思いだすのは、日
本が15年戦争に突

今思いだす山本宣治のこと

入する前の1929年に、ただ一人、

治安維持法の改悪に反対した山本宣
治(山宣)のことです。

山宣は、カナダでキリスト教社会
主義に出会い、東大動物学卒を卒業
して、同志社大と京大の講師として

働きつつ、性教育の普及、人びとに役だつ「人
生生物学」「無産者生物学」をめざして活躍し
た生物学者でした。

1928年の第1回普通選挙で衆議院議員に
当選し、治安維持法の最高刑を死刑とすること
に帝国議會でただ一人反対し、翌年右翼に刺殺
されました。39歳
の若さでした。

後藤 仁敏

私たちは今、一
人ではありません。

野党と市民が共同して、アベ政治を許さない運
動を進めています。でも、あの暗黒の時代にた
だ一人で闘った山宣の思いを今、私たちがそれ
ぞれのところに抱くことが大切ではないでしょ
うか。

(九条かながわの会事務局長)

沖縄県本部総会に60人 会場で2人が入会

沖縄県本部の総会が3月10日、
豊見城市とよみ生協病院ホールで
開かれ、60人が参加しました。

総会では、安仁屋政昭代表委員
が開会のあいさつした後、佐次田
勉さんが「カメさんを語る」と題
して講演しました。増本一彦中央
本部会長が、沖縄県本部の果たす
役割などについて激励あいさつを
しました。

村山純代表委員が、この間の取
り組みと次期総会までの方針を提
案、新しい役員の方針を含め全員
で拍手で確認しました。

総会には会員以外の43人も参加
され、2人が入会し、4人が賛助
会員となりました。

討論では、県本部の果たす役割
がつかめた、多彩な活動をしてい
ることに感心したなどの感想が寄
せられた。

次回総会の企画として「沖縄に
おける犠牲者の家族のお話」にす
ることを決めました。

私一言

結びつき生かし国賠署名 100筆以上3人

新潟県本部

新潟県本部は、国賠署名の団体申し入れ、各種集会での署名、会員が持つあらゆる結びつきで署名を集める取り組みを重視しています。すでに、200筆2人、100筆以上1人の経験に学び広めるようにしています。

遠山武さんは 1939年11月生れ。「私が、百筆以上の国賠署名を集めることができたのは、何と言つても体が丈夫だからです。天気がよく、暇さえあれば、ご近所は顔見知りですから、気安く訪問できます。そのとき、「安倍改

「抵抗の群像」第二集の積極的な注文と普及を

同盟創立50周年記念事業『抵抗の群像』第三集が完成しました。本書には、今年2月号までの「不屈」に掲載された、全都道府県で活動



の「不屈」に掲載された、全都道府県で活動

憲NO1署名」と「ヒバクシャ署名」も一緒に頼んでいます。

国賠署名を頼むときは今、放映中のNHKテレビの朝のドラマ「わろてんか」を話題に出したりします。

「治安維持法違反だということ、多くの人々が罰せられ、あるいは萎縮させられ、強制的に神がかりの思想に洗脳させられ、戦争に駆り出されました」というような話をしております。

国会請願署名の飛躍を

兵庫県本部

兵庫県本部は、あらゆる集会での署名を重視しています。この間の3・8国際女性デーで137筆、した方々89人が収録されています。

渡辺治一ツ橋大学名誉教授が本書に推薦文を寄せてくださいました。その中で「本書から、私たちは、時代に立ち向かう勇氣と決意のバトンを受け継ぐことができます」と述べています。申込は、都道府県本部まで。

3・13重税反対集会で820筆、計958筆を集めています。

団体・会員の署名とあわせ、メンバー、憲法集会などで署名にとりくみます。(不屈兵庫県版3月号)

人脈を生かし10人拡大

熊本県本部

熊本県本部は2月、会員10名を拡大しました。1月17日の中央本部常任理事会の提起を受けて、1月の会議で会員拡大について討議、2人のメンバーが動き出しました。1人は、日常的に選挙の支援活動で各地域を回っている人です。選挙運動で知り合った人脈、とくに議員候補になった人を中心に積極的にさそいました。選挙で世話になつているので、快く入会してくれました。もう一人の人は政党事務局で働いている人で、会議に参加する人、事務所に入出入りする人を対象に、これまた人脈を活用した会員拡大です。これらを含め県全体では10人の拡大です。今後とも人脈作戦を展開していくこととしています。今後の拡大活動としては、郡部でのDVD「種ま

く人びと」の上映を組織して、9月の県本部総会めざして拡大目標達成に努力することとしています。

銚子支部4月結成へ

千葉県本部

千葉県本部は昨年12月、銚子に支部をつくらうと日本共産党の議員を10期勤めた三浦眞清さんに銚子支部結成を依頼、支部結成をめざし「種まく人びと」の上映会を2回開き会員が4人になりました。19日、中村事務局長、七里副会長が支部結成の打ち合わせにきました。当日銚子駅で革新懇の3000万署名に参加していた三浦さんが、参加者に声をかけ2人が入会6人になり「支部結成ができる」と意気込んでいます。

銚子準備支部は、4月上旬に結成総会を開き、21日には、県本部と共催で、「戦前の時代を生きた人びとを語り継ぐ会」の開催を決めています。当日は「治安維持法と現代」編集委員の藤田廣登さんが「女工哀史を越えてー飯島喜美いま新しき光の中へー」と題する講演も決まっています。

顕彰碑 探訪

俳句弾圧不忘の碑
金子兜太さんが揮ごう(長野・上田市)

大きな御影石の「俳句弾圧不忘ふぼう

の碑」は、長野・上田市の信濃アツ

サン館別館(槐多庵かいたあん)の庭に建つ。

碑文は俳人の金子兜太さんが揮ごうし、2月25日除幕したばかり。

兜太さんはその3日前亡くなった。

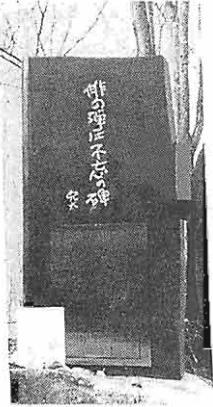
石碑の傍には「檻(おり)の俳句館」も開館。館内には、鉄格子

越しに「昭和俳句弾圧事件の犠牲者17人の肖像画、紹介文、俳句が一組ずつ展示されている。

「戦争をやめると叫べない叫びをあげている舞台だ 栗林一石

路)「大戦起るこの日のために獄をたまわる 橋本夢道」(戦争が廊下の奥に立ってゐた 渡辺

白泉) 昭和俳句弾圧事件は、1940



年2月の「京大俳句」同人幹部の

逮捕から始まり、43年12月まで続

いた。戦争や軍国主義を批判・諷

刺する俳句を作った新興俳句作家

ら44人が、治安維持法違反容疑で

逮捕、うち13人が有罪になった。

警察で拷問され、釈放後間もなく

病死した人もいた。

碑建立は、俳人・比較文学者のマ

ブソン青眼さんが発案し、金子兜太

さん、デッサン館館主の窪島誠一郎

さんら69人が呼びかけ、半年で約3

37万円の寄付金が集まった。

マブソンさんは「戦争の前には必

ず表現の自由が危機にさらされる。

上からの弾圧だけじゃなくて、自分

で自由をあきらめて時流に乗る

下からの弾圧が怖い」(「東京」3

月19日付)と語っている。治安維持

法と現代No36に詳報あり。

《交通》JR上田駅、上田交通電車、塩田駅下車、徒歩30分、循環バスあり (編集部・澤田勝雄)

創立50周年記念 三・一五事件90周年記念

「にいがた女性のつどい」

3月17日、新潟市・万代市民会

館で、同盟創立50周年記念 三・

一五事件90周年記念「にいがた女

性のつどい」が開催されました。

主催は新潟県本部女性部。参加者

180人。「種まく人びと」上映

記念講演は、社会変革に青春を

かけた女性群像「伊藤千代子と原

菊枝、平林せん

を結ぶ赤い糸」、

講師は藤田廣登

さん(労働者教

育協会理事・東

京山宣言副会長)。

治安維持法犠牲者の伊藤千代子

は長野県諏訪、原菊枝は新潟県、五

泉市、平林せんは伊藤千代子の又

いとこで新潟で「赤色信越」を発

行。彼女らのたたかいた軌跡が紹

介されました。

集会では、原菊枝さんの遺族があいさつ、木崎争議の池田徳三郎の孫が証言しました。

3・15治安維持法大弾圧事件90周年の集い 北海道本部

3月21日、札幌市で開かれた集

いに90人が参加しました。宮田汎

道本部会長が、道庁特高課が作成

した道内の3・15検挙者250人

の名簿と、同盟の調査で追加した

10名の犠牲者を報告。弾圧に抗し

た道民の闘いを紹介しました。安

倍政権が強行した共謀罪法は、

「対象があいまい」なこと、それに

問えなければ協議罪、共謀罪で罰

する、目的遂行罪の設定、自首す

れば罪を減輕・免除するなど、治

安維持法と瓜二つと指摘しました。

生活図画事件の犠牲者・菱谷良

一さん(96歳)は「私は暴力と恫

喝、甘言によって調書を『ねつ造』

させられた」と森友公文書ねつ造

疑惑に触れて会場を沸かせ「秘密

保護法、共謀罪法など治安維持法

のような法律が強行され、安保法

制で日本は戦争できる国になって

います。憲法を変えさせてはいけません」と強調。「菱谷さんが弾圧を受けたような世の中にならないよう頑張る」と参加者が応えま

抵抗の群像



3度の投獄に抗した 弁護士 守屋典郎

もりやふみお

1907年に東京で生まれた。

父は岡山市長。3歳の時、岡山県小田郡矢掛町に移った守屋典郎は、第六高等学校卒業後、26年東大法学部に入學。新人会に入ったが、法律の勉強に熱中し、同年の暮れごろ会を離れた。

2年の学年試験終了後、岡山に帰郷、後輩の六高生を訪問中に、28年の3・15事件で六高生十数人が検挙され、守屋もまきこまれて岡山署に逮捕された。

警察の取り調べが刑事訴訟法135条に反する人権無視の拷問である現実を知り、釈放後、法律学の勉強に興味を失い、4月に上京すると、3・15で解散されて非合法にされていた新人会に入った。新人会は同年10月に総会を開催したが、警察に見つかり、ほとんどが検挙された。起訴はされなかったが、全員停学処分を受け、責任者は退学となった。

執行猶予3年の刑で、豊多摩刑務所に2年間投獄された。

出獄後の34年、倉敷絹織に入り、法律問題の仕事に従事。38年3月、人民戦線事件などで検挙された。

9月、党目的遂行罪で起訴され、京都刑務所に投獄された。

40年に出獄し、大日本紡績連合会に入り、繊維統制会価格課長を歴任。調査研究に基づく繊維製品の公定価格算定は高く評価され、戦後、『紡績生産費分析』の研究書に結実。博士号を授与された。

太平洋戦争開始直後の41年12月9日、大阪非合法グループの予防拘禁として逮捕され、大阪警察署に翌年まで拘留された。その後、戦後まで特高、警察の監視下におかれた。

戦後、再建共産党に入党。45年10月、細川嘉六、風早八十二などと社会科学研究所を設立。46年1月、民主主義科学者協会設立に参加。社会科学研究所が党調査部に転化し、経済、政治、国際、農業の専門部がおかれ、政治の責任者となり、自由法曹団弁護士として活動した。

戦後、再建共産党に入党。45年10月、細川嘉六、風早八十二などと社会科学研究所を設立。46年1月、民主主義科学者協会設立に参加。社会科学研究所が党調査部に転化し、経済、政治、国際、農業の専門部がおかれ、政治の責任者となり、自由法曹団弁護士として活動した。

米国占領体制下の「民主化」の進行と独占資本主義の復活強化に対処し、人民的な日本の構築に必要な理論的・調査研究を行った。

また、日本共産党の「日本人民共和国憲法草案」の作成に没頭し、最終案は、宮本顕治と守屋が書いたものを合わせてできあがった、と言われている。

48年1月号の『前衛』に、「戦後経済の構造変化」を執筆、検閲を逃れる表現を用いて、アメリカの日本に対する帝国主義的支配をはじめて理論的に明らかにした。

これは『戦後日本資本主義』（青木書店、71年）に収録されている。48年衆院選で風早八十二氏が東京選挙区で当選したのに伴い、調査部の中心的役割がまわってきた。

朝鮮戦争が始まる前の50年6月6日、共産党中央委員24人全員が、翌7日には「アカハタ」幹部17人がGHQの指令で公職追放となり、編集関係者として追放された。

松川事件をはじめ多くの事件で活躍。他方、経済、歴史などの研究書も多数出版。95年没。89歳。
(同盟岡山直備南支部 宇野忠義)

短歌

碓田のぼる選

市の流すJアラートの予告放送に「武力攻撃」とありて驚く
岐阜県 和田 昌三

まだ憲法などやっていると友聞けば短かく答える
福井県 元山章一郎

「死ぬまでやるよ」
秋田県 高橋フキ子

独唱でアラン歌う五輪なり民族の誇りまざまざと知る
静岡県 江川 佐一

父母をしきりに恋し疎開地の十歳の秋東京遠く
奈良県 大森富士子

北極の如き厳冬もいまは過ぎ老い我らにもやつと春来る
大分県 渡辺 幹生

一、四〇〇台の車立ち往生す豪雪は三十七年ぶり石川・福井
島根県 小玉 信恵

後遺症に耐えつつ今は政権の末路早めんと心燃しおり
岐阜県 田中 良

だれ一人戦死者出さざる戦後あり憲法九条ありてこそなり
岡山県 中山 芳樹

侵略の歴史認識は疼うに無く軍靴響かせてゆく戦への道
埼玉県 福家 駿吉

〈選のあとに〉和田作品、意図的に「仮想敵国」をつくる狂騒曲への批判への目。元山作品は「不屈」に励まされて前へ進もうとしている心情。高橋作品は憲法を守る活動をあくまでもやり抜く決意「短く答える」によく表現されている。

俳句

望月たけし選

「許さない」春に託して兜太逝く
埼玉県 小池 荘八

平和とは何時も春呼ぶ自然流
石川県 野村 芳泉

天に春地に殺傷の世界地図
神奈川県 天野三葉子

沖繩の不屈は宝甘庶の花
岩手県 畠山 文裕

フキノトウへいわ特攻兵舎跡
兵庫県 岸本 守

〈評〉戦後俳句の第一人者、金子兜太さんが急逝した。最後まで、私は「戦争反対」の魂だと、揮毫した「アベ政治を許さない」の言動を貫いた。

川柳
鈴木いさお選

巨星墜つ生ける仲達を走らす
埼玉県 小室 仁彌

〈評〉中国の大河ドラマ「三国志」で有名な孔明と仲間達の話、先頃亡くなった俳人金子兜太と安倍総理に置き換えた手法はユニークで面白い。

光つてる反戦平和50年
大阪府 塩田 一行

新しい地理が欲しい再稼働
大阪府 大和 峯二

いつの間に蜥蜴とかげにされた佐川さん
大阪府 佐々木雅博

南あわじ市議会意見書採択

兵庫県南あわじ市議会は3月29日、「治安維持法犠牲者国家賠償」の請願を10対7の賛成多数で採択しました。(県同盟自治体部・小松美紀江)

創立50周年記念会員拡大5人以上の顕彰者

(第5次発表21人・累計75人)

【山梨】1人(累計4人)
小林義孝

【千葉】9人 小松 実、藤田廣登、中村日出丸、吉永弘子、寺尾 聡、渋谷定治、七里一司、須田淳子、三浦真清

【埼玉】1人(累計3人)
小池莊市

【愛知】3人(累計5人)
新井信康、新井英子、森 繁樹

【京都】1人 原田 完

【大阪】2人(累計6人)
松本洋一郎、岩下美佐子

【島根】1人 城市 昇

【徳島】1人 喜多啓二

【宮城】2人
相原君雄、上西 寛

第71回解放運動無名戦士合葬追悼会

わが国の進歩と革新、平和と民主主義を求めてたたかい、志半ばで倒れた方々の第71回解放運動無名戦士合葬追悼会が3月18日、東京・青山葬儀所で行われました。

式典で田中幹夫中央本部事務局長は、メッセージを紹介しました。今年、全国から新たに1073人が合葬され、合葬者総数は4万6205人となりました。



参加者は式典後、解放運動無名戦士の碑に献花しました。

映画「種まく人びと」

日本映画復興奨励賞の受賞決定

日本映画復興会議が、映画「種まく人びと」の鶴見昌彦監督はじめスタッフ一同に対して「第35回日本映画復興奨励賞」を授与することを決定。

5月12日(土)午後2時から、新宿農協会館において、贈呈式及びパーティが開催されます。

ぶい集いの学事子敏永末永敏事子の学集い

安倍政権にどう立ち向かうかを学び合う、「2018年多喜二・百合子に学ぶ」かたる「冒春・文化の集い」が2月24日、長崎・人吉市・中小企業大学校で、開催されました。

主催は早春・文化の集いよびかけ人(57人)。同集いの発足は1988年で、今年30年の記念の集いで、参加者は80人でした。

記念講演は、演題「反戦主義者なる事 通告申し上げますー消えた結核医、末永敏事」、講師は森永玲さん(長崎新聞編集局長)。

日本映画復興会議は、196

1年、日本映画の危機が深まる中で、映画作家、鑑賞団体、独立プロ、普及事業者、労働組合などが結成し、以来半世紀を超えて日本映画の文化的産業的復興と民主的再生を目指す活動を続けてきた団体です。受賞を励みに、「種まく人びと」の上映運動を一層広げて行きます。

クリスチャン医師の末永敏事(1887-1945)は1938(昭和13)年、時の戦争国家・日本に対して、不服従の意思を通告した。彼は58歳の生涯を従容として終えた。

本集いの前史は、小林多喜二や宮本百合子についておしゃべりする飲み会から始まったとのこと。5年くらいして、ただのおしゃべり会だけではもったいないので、あちこちに呼び掛けて今日のつどいがスタートしました。人口4万人の人吉市で、57人の呼びかけ人は、事実上「オール人吉」といってもいいメンバーの集まりになっています。

事務局日誌

- 3月17日 創立50周年記念集会在in 関西
- 3月18日 解放運動無名戦士合葬追悼会
- 3月19日 旧奈良監獄の保存活用問題で法務省交渉
- 3月20日 創立50周年記念実行委員会
- 3月22日 国際人権活動日本委員会代表者会議

発売中

『治安維持法と現代』

2018年春季号



【主な内容】「明治150年史観」の歴史認識を問う=山田朗明治大学教授。創立50周年を迎えて一同盟運動の今日的意義と展望=増本一彦会長。2017年度請願受諾国会議員一覽(顔写真付)。告発「猿ぐつわ・後ろ手錠」-横浜事件・森数男メモ発見=森伸一、《多喜二没後85年》多喜二とロマン・ロラン-幻の抗議文=高橋純小樽商大教授。『戦旗』防衛三重会場=岡村洋子。「種子は蒔かれた」-『アサヒグラフ』掲載の生前最後の写真とインタビュー。歌を通して伝える先人のたたかひ=ケイ・シュガー。(顕彰碑)「俳句弾圧不忘の碑」建つ。窪田精の生涯と文学碑。《抵抗の群像》「埼玉人民戦線事件」。同盟運動北海道同盟の組織建設など。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟